

課題

- インバウンドなど土地勘が無かったり公共交通に不慣れな来訪者にも、分かりやすく、まちを楽しみながら移動してもらえる環境の整備が必要
- SRTの導入にともなう回遊性の向上や賑わいの拡大、公共交通利用への行動変容を把握し、今後の施策展開につなげるための効果検証が必要

プロジェクト概要

[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)]

- MaaSアプリ「CentX」では、既存の名鉄・名鉄バス、名古屋市営地下鉄・バス、JR等に新たな路面公共交通「SRT」を加えて一体的に検索できる機能を追加
- SRT・名鉄・堀川クルーズをセットにした企画乗車券を販売し、QRで認証できるサービスを提供
- SRTにクレジットカードタッチ決済を導入し、上限設定による企画券も発売
- ウェブサイト、デジタルサイネージ、MaaSアプリが連携して、SRTの走行位置や混雑度を地図上でリアルタイムに発信するシステムを導入するとともに、まちの魅力を伝える動画や周辺のスポット・イベント情報、シェアサイクルポートの情報等を提供

[モビリティ・データの取得と活用]

- 決済データやAIカメラから取得するODデータ、GPS・Wi-Fiパケットセンサー等から取得する人流・属性等のデータから、SRTの利用傾向や回遊行動等の分析を行い、公共交通利用の促進やまちの賑わい創出への効果を検証

[エンドコンテンツとの連携]

- SRT車内ではGPS位置情報との連動システムにより魅力スポットの情報を提供
- SRT乗降・待合空間にベンチ等を設置し、居心地の良いウォークアブル空間に整備
- 来訪者の回遊を促すARスタンプラリーを実施し、スタンプがたまったらCentXからクーポンを発行
- SRT・名鉄と堀川クルーズ(名古屋城の入場料割引特典付き)をセットにしたデジタルチケットを造成・販売

効果

- MaaSアプリを使った企画乗車券の販売・使用データや、ARスタンプラリーへの参加者数などから、来訪者のリアルな回遊行動が取得でき、提供コンテンツの改善や新たなサービスの企画が可能となる。
- ODデータの取得により、SRTの最適な運行を検討することが可能となる。

事業の新規性

- 名古屋都心部の定時・定路線の路面公共交通としては初めてとなるクレジットカードタッチ決済、QR読み取りが可能なデジタルチケットをSRTに導入する。
- 過去に市内の路線バスで行われた社会実験ではデジタルチケットの認証を目視で行っていたが、今回、SRTでは車載器によるQR読み取りを可能とすることで、運転手の負担を軽減しつつ、利用データの確実な蓄積が可能となる。

事業エリア/交通事業

名古屋市都心部、名古屋鉄道沿線地域/
SRT(Smart Roadway Transit):東西ルート(名古屋駅～栄)
鉄道:名古屋鉄道(中部国際空港駅～名古屋駅 等)
舟運:堀川クルーズ(納屋橋～名古屋城)

MaaSアプリ等

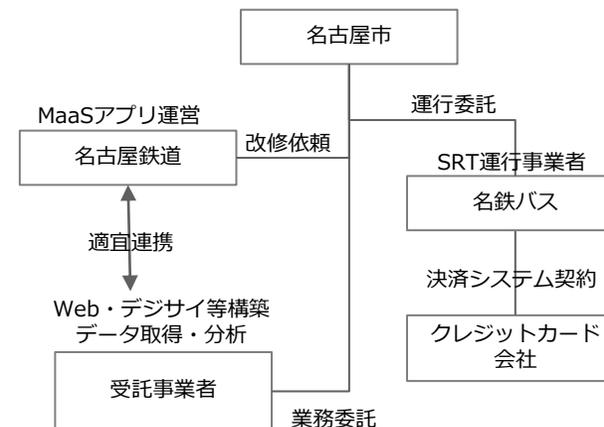
- MaaSプラットフォーム:CentX
- 経路検索機能:NAVITIME API
- クレジットカードタッチ決済:stera transit
- 走行位置表示システム:バス予報
- ODデータ取得:B-RIO
- ダッシュボードシステム:Google Analytics

データの活用等

- データの取得方法:デジタルチケット購入者属性、車内のAIカメラで取得するODデータ、GPSデータ・Wifiパケットセンサーから取得する人流データ等
- データの活用方法:SRTの導入効果を検証し、路線拡大やサービス・コンテンツの改善などに活用予定

座組

スケジュール



4～8月 ・システム開発

9～10月 ・動作検証
・運行前データ取得
・企画乗車券の造成

R7年度後半 ・SRT運行開始
・各種システム開始
・運行後データ取得
→データ分析・検証